

天然記念物指定80年・
御油松並木愛護会発足50周年記念

もっと ずっと 松並木 ...そして未来へ



もっと、ずっと、豊川。

～もっと 元気なとよかわを 目指して～



豊川市教育委員会
御油松並木愛護会

御油のマツ並木について

御油のマツ並木は、豊川市御油町美世賜から赤坂町の境界までの東海道の約560mに植えられているクロマツ並木です。

太平洋戦争中の昭和19(1944)年11月7日に国天然記念物の指定を受けました。

令和6(2024)年で80年！！



◆東海道とは…

慶長5(1600)年の関ヶ原の合戦で勝利した徳川家康は、翌慶長6(1601)年に全国を支配するため、江戸(今の東京)と各地をつなぐ五街道(東海道・日光街道・奥州街道・中山道・甲州街道)の整備をはじめました。このうち、江戸日本橋から京(今の京都)三条大橋を結ぶ東海道には53の宿場がつけられ、豊川市内には御油宿と赤坂宿ができました。



五街道の位置

それぞれの街道沿いには並木がつけられましたが、これには以下のような目的があったといわれています。

どれだと思っ？



- 説① 旅人が並木の下で休憩するため
- 説② 街道(道路)を崩れないように保護して安全に通れるようにするため
- 説③ 旅人が道を間違えないようにするため
- 説④ 景色をよくして夏に日陰を作り、冬に雪が積もらないようにするため
- 説⑤ 「将軍の道」としてのすごさを人々に知らしめるため

東海道に植えられたのはマツがほとんどでしたが、場所によってはスギ・ヤナギ・サクラ・ヒノキなどもありました。日光街道のサクラ並木や箱根旧街道のスギ並木が有名です。



昭和28(1953)年に撮影された御油のマツ並木 (御油の松並木資料館蔵)



マツ並木の方向から見た赤坂宿の浮世絵

江戸時代の並木の維持・管理

御油のマツ並木について今わかっている一番古い記録には、江戸時代中期の宝暦2(1752)年に667本のマツが植えられていることが書かれています。

江戸時代の五街道や付属する街道の並木は、江戸幕府の道中奉行^(*)の管轄として、領主に管理をさせました。御油のマツ並木周辺は江戸時代を通じて幕府領^(*)だったため、代官^(*)とその出張陣屋^(*)である赤坂役所の管理下にありました。

江戸時代後期^(*)には、御油宿・広石村(現在の御津町広石)・赤根村(〃御津町赤根)がマツ並木の管理を担当していました。マツが枯れたり倒れたりすると、代官が日時と働く人数を決めて、苗木を植えることを命じました。苗木は上野山(御津町豊沢)と遠見山(御油町)の御林から集められ、冬の寒い時期(1~2月)に植えていました。植えるための鋤・もっこ^(*)・箒・鎌などの道具は各自で持って行きました。このように何度も繰り返し新しいマツを植えることでマツ並木は今日まで維持されてきたのです。

東海道中膝栗毛に書かれた御油のマツ並木

江戸時代後期に十返舎一九によって書かれた『東海道中膝栗毛』には、御油のマツ並木での狐騒動の話があります。

主人公の弥次郎兵衛と喜多八が江戸から伊勢神宮を目指す旅の途中でこのことです。

吉田宿(今の豊橋市)を出て赤坂宿に向かった弥次さんと喜多さん。今夜はいい宿に泊まろうと喜多さんが先に行って宿を探すことにしました。あとに行く弥次さんが御油宿に来たところ、茶屋のおばあさんに「マツ並木には悪い狐がいるから、今夜は御油に泊まれ」とおどされました。喜多さんを追って進むと、赤坂宿に先に行っているはずの喜多さんがマツの根元にいました。弥次さんは狐が喜多さんに化けていると思い込み、本物の喜多さんを取り押さえて手拭いでしばって赤坂宿まで連れて行きました。

その後やじさんと喜多さんはどうなったのかな？



この話は、『道中膝栗毛赤坂並木の段』として歌舞伎の演目にもなって、多くの人に知られるようになりました。

(*)用語解説

道中奉行……五街道とその付属街道に関する取り締まり、道路や橋の修理や並木の管理などを担った江戸時代の役職。

幕府領……江戸幕府が直接支配した土地のこと。江戸時代には大名や寺社、幕府に直接仕えた御家人などが支配する土地もあった。

代官……幕府の直接支配した土地を管理していた役職で、年貢の取り立てのほか、用水の管理、治安維持などを担っていた。

出張陣屋……陣屋とは今でいう役所のこと、出張陣屋は主となる陣屋から離れた場所に置かれた出張所のこと。

江戸時代後期……1750年頃から1850年頃まで。

もっこ……縄や竹を袋状に編んで土や砂を運んだ運搬道具。



赤坂の舞台での歌舞伎のようす

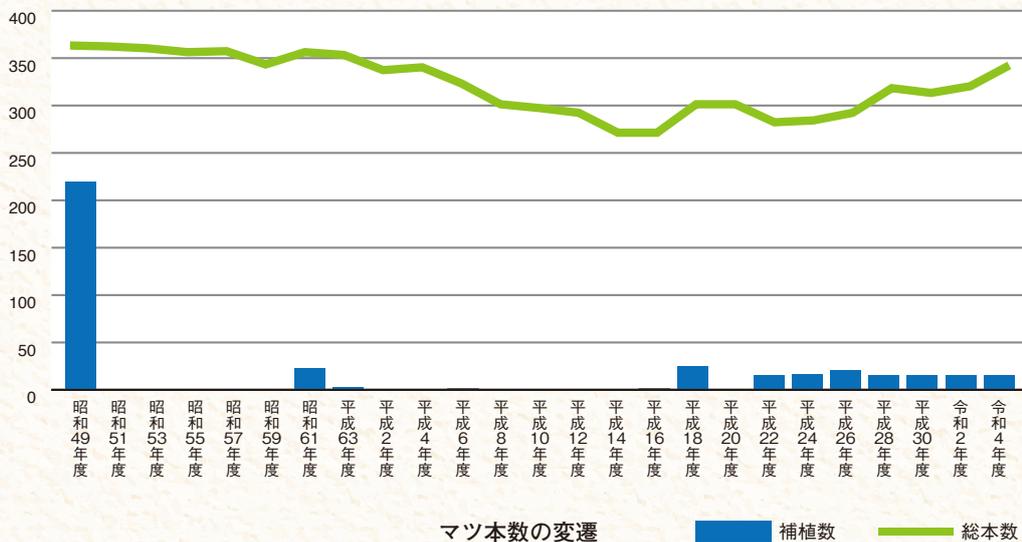
御油のマツ並木の指定の経緯^{けい い}

江戸時代が終わり明治時代になると、それまで幕府が直接行っていた並木の管理の体制はうやむやになりました。そのため、各地の並木はだんだんと無くなっていきましたが、御油のマツ並木は地元の人々によって大切に守られてきました。

そして、太平洋戦争も終わりに近づくころ、船の材料や燃料として街道のマツ並木をはじめ各地の大木が日本国中で伐られるようになりました。この時、豊川市内でも砥鹿神社（一宮町）のご神木や国府町内の東海道マツ並木などが伐採されています。

しかし、一部の貴重な木々は永久に保護することが国の方針で取り決められ、全国的に知られていた「御油のマツ並木」は、昭和18(1943)年2月にこれらの木に選ばれました。

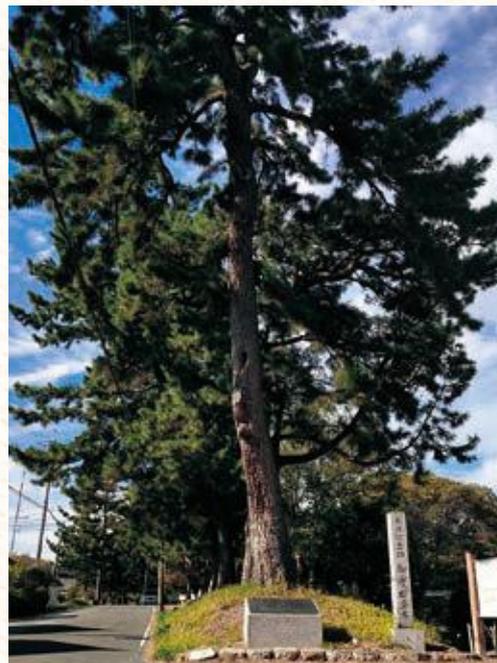
その後、昭和19(1944)年11月7日に天然記念物として国の指定を受け、今に至ります。



この表は、昭和49(1974)年度以降のマツの本数の移り変わりを示したものです。江戸時代の史料には宝暦2(1752)年に667本、文久3(1863)年に643本のマツが植えられていた記録があります。

明治や大正時代、昭和前半の本数はわかりませんが、昭和39(1906)年の記録では総本数171本、うち大木数151本とあり、江戸時代に比べると総本数は減っています。しかし、幹回り60cm以上の大木は、宝暦2年で109本、文久3年で188本、令和3(2021)年は155本ですので、マツ並木の街道風景は現在とそれほど変わらないとみられます。

その後、昭和49(1974)年度に219本のマツを一斉に植え、総本数が363本になりました。平成16(2004)年度にかけて少しずつ数が減ってしまいましたが、平成21(2009)年度以降は御油松並木愛護会と御油小学校で毎年15本ほどのマツ苗を植え続けていることもあり、現在では300~350本という適正な本数を維持しています。



江戸時代に植えられたとされるマツ(No.1)

これまでの保護のあゆみ

昭和47(1972)年2月11日に御油町民を主な会員とした御油松並木愛護会が発足しました。そして、昭和51(1976)年2月3日に豊川市が文化庁から御油のマツ並木の管理団体(責任をもって管理する団体)に指定され、この2つの大きな動きによってマツ並木の保護活動が前進しました。

昭和49年度の219本という多くの補植は、御油松並木愛護会の呼びかけにより行われたものです。昭和51年9月5日には豊川青年会議所と愛護会と一緒に「御油並木祭り」を行い、その後も愛護会を中心としてさまざまなイベントが行われました。昭和63(1988)年4月には御油の松並木資料館が開館、平成25(2013)年には御油松並木公園が開園しています。

これまでに行われた主なイベント

- 昭和51(1976)年9月5日 御油並木祭り
- 平成6(1994)年11月6日 松並木フェスタ in御油
- 平成16(2004)年10月31日 いきいきフェスタIN松並木
- 平成26(2014)年11月16日 Let's Go You70
- 令和元(2019)年12月1日 宿場町ふれあいウォーキング



宿場町ふれあいウォーキング

平成21(2009)年度からは御油松並木愛護会が御油小学校と一緒に継続的に補植に取り組んでいます。平成25年度以降はマツ並木のまつぼっくりから採った種を苗木に育て、それを並木に植えています。このほか、御油町民が参加する年3回の草刈り・清掃、冬場を実施するマツの成長をうながすための作業などによって江戸時代から続く風景が今も維持されています。



御油の松並木資料館



御油松並木公園



冬場の樹勢回復作業



草刈り・清掃作業風景

クロマツの芽が出るまで

- ① マツには雄花と雌花があります。雄花の花粉が風で飛び、雌花の先から粘液が分泌され、その上に花粉が付着します。



雄花



雌花

- ② 松ぼっくりの中で種子が成熟するまでに約1年半かかります。
- ③ クロマツの種は翼が付いていて、1つの種鱗に2個入っています。



- ④ 種が風に飛ばされ、地面に落ちて芽が出ます。



雨が降る日は鱗片は閉じてるよ。

マツ脂はバイオリンの音を出すために弓の毛に塗ったり、野球のボールを投げる時のすべり止めにも使われているよ。



クロマツの利用

樹齢が長く、暑さや潮風にも強いクロマツは街路樹や海岸沿いの防風林として植えられることが多くあります。幹は粘り強く、折れずに曲がる特性があるので、建物や船の部材に使われます。マツ脂は薬や油絵の原料にも用いられます。

まつぼっくりは、クリスマスツリーの飾り付けやリースの材料のほか、焚き付け用の着火剤としても役立ちます。またマツの葉っぱを使って、マツ葉相撲という遊びもできます！



豊川市大橋屋の梁に使われているマツ材



マツ並木を守ろう！

◆御油小学校の取り組み

豊川市立御油小学校では、マツ並木の保護活動に取り組んでいます。5年生は、4月に学校でマツの種まきをします。6年生では総合的な学習として御油のまちの歴史や御油のマツ並木を調べ、3学期に御油松並木愛護会の人から御油のマツ並木のことを教えてもらい、卒業プロジェクトの一環として育てていたマツ苗を並木に植えます。

◆マツ苗を植える方法

マツが大きく育つための作業の順番と注意事項

作業の順番	注意事項
①スコップで肥料と土をまぜ、地面に浅い穴を掘る	土が散らばらないようにしよう
②穴にマツ苗を置き、マツの周りに土を盛り土手を作る	土手の表面をしっかり固めておこう
③ペットボトルの水を入れる	土手がこわれないように水を入れよう
④水が引いたら土手の内側に肥料を置く	肥料をマツの周りの土中に均等に押し込む
⑤マツの番号札をつける	マツの枝を折らないようにそっとつけよう
⑥植樹記念のプレートを取り付ける	
⑦グループで記念撮影	マツの根元を踏まないように気をつけよう

◆3点植えについて

江戸時代には3本のマツ苗を狭い間隔で植えることで成長を競争させ、より早く立派なマツを育てるという取り組みを行っていました。現在、御油のマツ並木では約1.8mの間隔で植えることを基本としつつ、江戸時代の取り組みを参考に毎年1箇所程度で3点植えを実施しています。そして、5年ほど観察しながら成長や形が一番良いマツを1本残して2本を伐ることで、健康なマツを大きく育てることを試みています。



正しい植え方

◆並木の日常管理

クロマツは暑さに強く、成長にあたって多くの水分は必要ありません。太陽の光が大切ですので、これが少ないと成長が遅く葉の密度も低くなります。そのため、冬に行う樹勢回復作業では周辺の樹木(雑木)を剪定し、マツの成長にとってより良い環境作りに取り組んでいます。

マツは一年を通して細い緑色の葉を付けているため常緑針葉樹といいますが、季節の変化や成長により葉を落とすことがあり、地面に茶色くなったマツ葉をたくさん見つけることがあります。しかし、**落ちた葉を集めてマツの根元に置くことはしないでください。**というのも、集められたマツの葉は、夏に湿度をたくわえ、冬には保温性が保たれることでマツにとって悪影響を与える虫が住み着くことになるからです。

ちなみに、冬場に幹に菰(稲わらを編んだもの)を巻くのは、これらの虫を集めて一緒に燃やすことと、寒さから樹皮を守るためとされています。ただし、菰にはマツにとってよい虫も集まってきますし、マツの幹は本州平地の冬場程度の寒さには耐えられるので、豊川市では菰巻きをしなくても、寒さでマツが枯れることはありません。

指定100年に向けて ～そしてさらなる未来へ～



目指せ100年!

▶ これまでの取り組みと、未来に向けて

岐阜大学名誉教授 林 進 さん

私が御油のマツ並木に関わり始めたのは平成14(2002)年度の環境調査がきっかけで、それから20年以上にわたって御油の方々やマツの保護に取り組んできました。初めのころはマツの保護に関してさまざまな意見があり、愛護会の役員とは調整に苦労を重ねたことが思い出されます。しかし、少しずつマツ並木保護への理解がひろがり、今では夏場の草刈り・清掃作業や冬場の樹勢回復作業などに多くの方が参加されるようになり、その活動にふれることがとてもうれしく、大切な文化財は地域のみんで守っていくという強い熱意を頼もしく思います。



御油のマツ並木は国天然記念物指定を受けてようやく80年を向かえますが、次は指定100年という大きな節目を目指してください。これまでの歴史を振り返り、未来に向けて現在の取り組みを着実に進めていかれることを願っています。

▶ 御油のマツ並木を未来へ伝えていくために

御油松並木愛護会 会長 天野 保幸 さん

御油松並木愛護会は昭和47(1972)年に結成し、これまでにマツ苗の補植、草刈り・清掃作業、イベントの開催などさまざまな活動に取り組んできました。平成21(2009)年度からは御油小学校と協働して継続的な補植に取り組み、江戸時代から続く並木景観の保護に努めています。



これまでの50年以上にわたる活動は、地元の多くの方々の協力によって続けられたものであり、これから先もみなさんと団結して御油のマツ並木を保護していきたいと思えます。将来的には国天然記念物指定100年という記念すべき節目を目指し、現在の取り組みを確実に継続していきます。先人の努力を引き継いでいけるよう、精いっぱい頑張ります。



御油小学校での種まきのようす



卒業記念植樹のようす



御油小学校マスコットキャラクター
「ごゆきっこ」

御油小学校児童会主催のマスコットキャラクター総選挙において、5年生の藤原 葵(ふじわら あおい)さんの「ごゆきっこ」が1位に選ばれました。

編集—豊川市教育委員会生涯学習課
発行—豊川市教育委員会・御油松並木愛護会
発行日—令和5年12月1日

